



県立高看だより



第40号(令和3年3月)



巻頭言

早春の候、皆様におかれましては益々御健勝のこととお慶び申し上げます。日ごろより本学院の運営に多大のお力添えをいただき、心より感謝いたします。

令和2年度も残り1か月となりました。今年度は、ナイチンゲール生誕200年を迎えましたが、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大のなかのスタートとなりました。新型コロナウイルスが国内で確認され1年が過ぎたにもかかわらず、今なお、新型コロナウイルスの脅威が続いております。「感染制御の母」といわれたナイチンゲール。ナイチンゲールの著書「看護覚え書」は、現在でも看護師のバイブルとして読み継がれています。コロナ禍の今だからこそ、「新鮮な空気がいかに健康保持に大切であるか」、感染症対策のルーツといえるナイチンゲールの教えに身が引き締まる思いであります。

さて、3年生は、2月14日に看護師国家試験を終えました。今年は、緊急事態宣言のなか、感染予防対策を徹底し行われました。感染による健康リスク(後遺症)があるとされる新型コロナウイルス、合格することはもちろんですが、3年生が一人も欠けることなく受験できたことに安堵しています。感染拡大を最小限に抑えるために様々な制約のなかで多くの障壁を乗り越えた3年生、必ずやその努力が実を結ぶものと確信しています。

2年生は、領域別看護学実習が始まっています。しかし、新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが見えないなか、実際に患者さんを受け持って看護過程の展開や看護実践を行うことができません。学生たちは教員が作成した事例を展開し、自身の創造力・想像力を働かせ工夫しながら、看護援助を実践しています。

また、1年生も同様です。本来なら基礎看護学実習Ⅰ-1、基礎看護学実習Ⅰ-2を終え、基礎看護学実習Ⅱに臨んでいるところでしたが、学内実習に変更しています。臨床現場での実習ができなくても、教育の質を落とすわけにはいきません。臨床経験豊かな教職員の発想力や創造力で新たな教育を構築すべく、今、できることは何かを考え、取り組んでいます。看護師にとって必要とされる多角的視点での対象の理解や看護の対象者への対応経験など、体験的学びの機会を確保してまいります。

引き続き、保護者の皆様には、御支援、御協力をいただきますとともに、忌憚ない御意見を寄せていただければ幸いです。今後とも、豊かな情操と人間性の涵養に努め、看護の専門職業人の養成という教育目的に向け、教職員全員で取り組んでまいります。

最後に、世界中で新型コロナウイルスの猛威から、患者さんを守り、必死に対峙されている医療従事者の皆様に、心より敬意と感謝申し上げます。

学院長 伊藤 美佐子





学年担当より

1年生(39回生)

3月1日から3週間、基礎看護学実習Ⅱに取り組んでいます。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け学内での実施に変更しました。「患者のニードを判断し、対象にあった日常生活援助技術を学ぶ」を実習目的に、既習の知識、技術を活かし患者の個別性を考えた看護を学びました。

国家試験対策としては、模擬試験を2月9日に実施しました。結果は春休み前に、学生に返却します。また国家試験を終えたばかりの3年生とのピアグループ活動では、国家試験対策を聞き今後の学習への心構えを新たにしました。

春休みには、1年生のまとめを計画的に行い、心身ともにリフレッシュして2年生への準備をしましょう。4月の始業式には、成績表を配布しますので、1年間の努力と成果を御覧ください。今後とも御家族の皆様には、心身両面の御支援をお願いします。

2年生(38回生)

11月から開始した領域別実習は、3クールまでが終了しました。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、臨地実習(病院や施設)の多くは学内実習に変更しました。しかし、学内実習でも、講義での学びや演習での技術を看護実践に繋げられるよう看護に取り組みました。臨地実習を経験できた学生は、経験することが出来なかった学内実習の学生へ、臨地実習での戸惑いや悩み、患者さんが回復していくことへの喜びなどを伝えることで学びを共有しました。学生達は、互いに学び合い看護師への道を進んでいます。

3月1日(月)、8日(月)は県立病院、実習病院職員を招いて就職説明会を開催しました。オンラインによる各病院の看護部の方々の説明を学生は真剣に聴講していました。教職員は、学生が3年間、看護師という専門職を目指す意志をしっかりと持ち続けられるよう引き続き支援していきます。

ご家庭でも、心身両面の御支援をよろしくお願いいたします。

3年生(37回生)

令和3年2月14日(日)に東京工科大学八王子キャンパスで第110回看護師国家試験が行われました。69名全員が無事に受験を終えました。「国家試験全員合格」というプレッシャーに加え、今回は新型コロナウイルスの感染予防に注意を払い、最後まで取り組んできた3年生の頑張りが実を結ぶことを願っています。

看護研究においては、学院を代表して、吉田里帆さんが「右片麻痺のある高齢者へのリハビリ意欲を向上させる看護」について埼玉県看護学生研究発表会集録に掲載され、高評価をいただきました。3年生は、学院で学んだことを心に刻み、患者様を尊重し個別性に合わせた看護を追究していくことを期待しています。

3月26日(金)は看護師国家試験合格発表です。全員合格を祈念しています。





令和2年度進路状況

69名(令和3年3月1日現在)

就職 64 名	県内 60 名 県外 4 名
進学 5 名	大学編入 1 名 助産専攻 4 名

第一学生寮解体、寮のエアコン工事

令和3年1月、長年使用していなかった旧第1学生寮等の解体工事が完了しました。また、残った第3学生寮については、寮内全室のエアコンを入れ替えました。



(寮室内のエアコン)

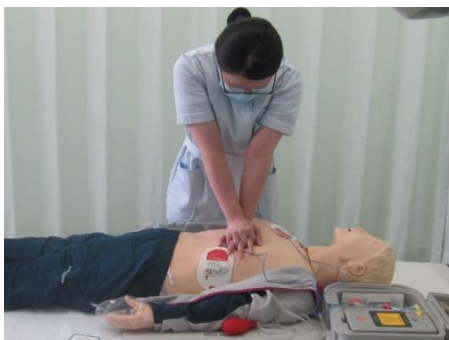
ナーシングアンシミュレータの活用について

新型コロナウイルス感染症に伴い臨地実習の中止が続いています。臨地実習での学びを学院内で補うために、実習室に新しい仲間、ナーシングアンシミュレータが加わりました。これは、医療従事者を教育するためのトレーニング用シミュレータで、埼玉県学内演習補完事業の一環として整備されました。当学院が中心となり近隣の看護専門学校と交代で使用します。看護実践能力向上のため、学生たちの強い味方となってくれることを期待しています。



レサシアンシミュレータでの

心肺蘇生法演習の様子



器具を用いた気道確保、除細動・経皮ペースティング等の蘇生関連処置のほか、呼吸・循環を含めたバイタルサインの評価が訓練できるモデル人形が更新されました。前掲のナーシングアンシミュレータは近隣の看護専門学校と交代使用になりますが、レサシアンシミュレータは校内でいつでも使用することができます。より臨床の再現性の高い教材で学びを深めていきます。

学校関係者評価

令和2年度学校評価は学校関係者評価委員3名により、2月4日に受けました。結果は、学院ホームページに掲載する予定です。今年度は、新型コロナウイルス感染対策をしっかりと行い学校運営、学生の学ぶ機会を工夫して実践しました。学校評価では教職員の達成感が低く、ありがたいことに保護者の皆様、学生達、外部評価者の評価が良かったことです。今後も更なる向上を目指して参ります。御支援、御鞭撻の程宜しく願いいたします。

令和2年度入学試験状況

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、感染予防対策を講じたうえで学校説明会を実施しました。8月から12月まで毎月説明会を実施し、参加者総数は295名でした。事前予約制や来校時の体温測定など、参加者の皆様にも御協力いただき無事に終了することができました。入学試験も新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を講じたうえで、推薦選考・社会人選抜試験を11月、一般選抜試験を1月に実施しました。

それぞれの入学試験に対する受験倍率は以下の通りです。

・推薦選考試験:1.6倍、社会人選抜試験:3.0倍、一般選抜試験:1.7倍

年々、県内外の志願者・受験者が少なくなっています。志願者数の確保のため、学院の魅力が伝わるように学校説明会や高校の進路相談会などで周知していきます。

保護者アンケートお礼

昨年10月に全学年の保護者の皆様に保護者アンケートを実施しました。御協力ありがとうございました。結果は、学院ホームページの学校評価に加えて提示いたします。

今後とも保護者の皆様には、3年間の学生生活を心身の両面から温かな御支援を継続してくださいませようお願い申し上げます。

今後の予定

3月26日(金) 看護師国家試験合格発表

4月5日(月) 始業式・入寮式

4月6日(火) 入学式

発行/埼玉県立高等看護学院

〒360-0105 埼玉県熊谷市板井 1696 TEL 048-536-1916

発行責任者 伊藤 美佐子